

「市民と議会との語る会」実施報告書

— 教育厚生委員会 —

日 時	平成28年5月20日(金) PM7:00 ~ PM8:40
会 場	福祉健康センター4階 多目的ホール
出 席 議 員	安立里美、加藤吉則、霜実男、川崎俊之、 三田村輝士、西野与五郎、福田往世
参 加 者 (市 民)	16 名
議 員 担 当	班長:安立議員 挨拶:福田議員 司会:三田村議員 報告:西野議員、川崎議員 記録:霜議員、加藤議員
会 議 概 要	<p><開会あいさつ> 福田議員より</p> <p><議員自己紹介></p> <p><第1部 議会報告会> 西野議員より</p> <p><第2部 意見交換会> (地域ぐるみ福祉の推進・健康づくりの推進について)</p> <p>○テーマの概要説明 川崎議員より</p> <p>○質疑</p> <p>Q:しきぶ温泉の無料券をなぜなくしたのか? A:今まで介護保険の予算から出ていたが、券が本人ではない人にも利用されていた。そこで、その分を介護予防の方に組み入れ、運営費を払って広げていくことになった。</p> <p>Q:しきぶ温泉の無料券は、市民の中に楽しみにしている人が多い。経営者が変わって食べ物の持ち込みもできない。今までは持ち込みして楽しんで一日過ごせた。 A:経営的な観点から、4月から指定管理制度が変わり、指定管理期間が5年から10年になった。</p> <p>Q:「みんなで支え合う地域」について、仕事の合間を縫って「ふれあいサービス」のための時間を作ったが、市の職員のボランティアへの対応がつかなく悲しかった。 A:連絡不足があったのだと思う。市に改善を図るよう伝える。</p>

会 議 概 要

Q: 体育館の使用料金なぜかかる。北日野では体協会費 3000 円で運営していた。議会で通ってから報告されてもどうしようもない。歳とってからの楽しみが減ってくる。利用者も減るのではないか。

A: 公平性の観点でもう一度検討したい。資料使い改めて説明したい。使い方は有料にしなければだめだろうと監査委員から出た話。課題整理をして、私たちの課題としたい。

Q: 健康診断のことで、県内 9 市の中で受診率が下から 2 番目。以前は町内にピラを配って呼びかけたが、何か良い方法はないのか

A: 受診率上げることは大切。議会で受け止める。

Q: 歯も大切。まめに医者にかかると歯がガタガタにならない。足がないので行けないというのなら、声かけあって誘っていくようするとよい。

Q: 人口減に対し市の見解はどうか。越前市に魅力がないのではないか。鯖江は春になると元気。西山公園とか。昔は村国公園もぼんぼりを桜の木につけて、踊りもあって、今人口増えない。武生東運動公園もつと格上げを目指してほし。菊人形と菊花園も同じ場所でやると良いと思うのに中途半端だ。

A: 定住化に向けての政策はたくさん有る。補助金を若者だけでなく、ある年齢以上の人にも出してほしいと言いたい。

定住促進について、都会の人に来てもらう。女子大生 2 割しか戻らない。IJUターンの促進。女性が輝くものづくりのまちを目指す。雇用はあるが住環境が問題あり。40 歳過ぎても支援しようと。

鯖江に住んで、武生で働く様相。奨学金免除その他いろんな施策を立てている。

県内で人口増えているのは鯖江のみ。

県外から帰ってきてても、就職厳しい。皆さんからのアイデア聞きたい。

Q: 障がい者区分について、詳しくない者に判定してほしくない。

A: 障害の判定調査項目のこと、認定の方法やシステムを知っている人をお願いしている。

Q: 「いきいきシニアクラブ」について、大手町 21 世帯は来年の会長に誰も手を挙げてくれず、仕方なく引き受けた。計画は年 14 回で立てた。来週からスタートする。補助金の振込口座はなぜ区長の口座なのか。

A: 本当は自治振興会に入れる予定も、振興会が受け入れなかった。そこで、公のモノということで区長の口座に振り込むことになった。町内会への加入率が 60% ぐらいの自治体がほとんどの中、越前市においては 100% という現状も関係しているかと思う。

会 議 概 要

いきいきふれあいの集いでちょっと体動かそうとか、もっと活動増やせば支援しよう。なお、補助金の使途は運営費、活動費のみ。食べ物とかは不可。

<閉会あいさつ> 安立議員より

平成28年5月25日

越前市議会議長 城戸茂夫様

教育厚生委員長 安立里美